

**第187回
取引先企業景気動向調査**

2024年 10 - 12月 実績

2025年 1 - 3月 見通し

＜ 調査の概要 ＞

- 調査期間 2024年10～12月を対象に12月上旬に実施
- 調査対象先 297社
- 調査対象地域 瀬戸・尾張旭地区および名古屋地区
- 分析方法 「増加したとする企業割合」と「減少したとする企業割合」の差(DI)を中心に分析した
※DIとは、業況を判断するための指数で、＜良い(やや良い)と答えた割合＞から＜悪い(やや悪い)と答えた割合＞を引いた数値で、どちらの割合が多いかを比べて業況がどの方向に向きつつあるかの判断を指数化したもの

● 調査企業の業種構成

《瀬戸・尾張旭地区》

| 企業数 (社) | 陶磁器製造業 | | | | | | 珪砂 製造業 | 建築・土木・ 生コン製造業 | 螺子 製造業 | 和飲食器 卸売業 | 電設資材 卸売業 | 合計 |
|------------|--------|------|-----|-----|------------|------|-----------|------------------|-----------|-------------|-------------|-----|
| | ノベルティ | 洋飲食器 | タイル | 電磁器 | ファインセラミックス | 和飲食器 | | | | | | |
| | 15 | 7 | 7 | 23 | 13 | 18 | 10 | 19 | 17 | 20 | 16 | 165 |

《名古屋地区》

| 企業数 (社) | 製造業 | | | 卸売業 | | | 建設業 | 合計 |
|------------|------|-------|------|--------|------|-------|-----|-----|
| | 繊維製品 | 機械・部品 | 紙加工品 | 鋼材・伸銅品 | 建築材料 | 家具・文具 | | |
| | 11 | 36 | 15 | 19 | 14 | 7 | 30 | 132 |

● 天気図の見方

好調 ←  → 低調

景気動向は、1971年(昭和46年)から調査を開始し、現在の調査方法は2006年(第112回 1～3月期)より開始しております。

■ 瀬戸・尾張旭地区 【業種別の業況天気図】

| 業種 | | 2022年 12月 | 2023年 3月 | 6月 | 9月 | 12月 | 2024年 3月 | 6月 | 9月 | 12月 | 2025年 見直し3月 |
|--------------|------------|--------------|-------------|-------|-------|-------|-------------|-------|-------|-------|----------------|
| 陶磁器製造業 | ノベルティ | 23.5 | | 11.8 | | 6.7 | | 6.7 | | 6.7 | |
| | 洋飲食器 | ▲14.3 | | ▲28.6 | | ▲28.6 | | ▲14.3 | | ▲14.3 | |
| | タイル | 0.0 | | 0.0 | | ▲14.3 | | ▲14.3 | | ▲42.9 | |
| | 電磁器 | ▲27.3 | | ▲34.8 | | ▲27.3 | | ▲27.3 | | ▲30.4 | |
| | ファインセラミックス | ▲23.1 | | 0.0 | | 7.7 | | ▲15.4 | | 0.0 | |
| | 和飲食器 | 0.0 | | ▲14.3 | | 0.0 | | ▲14.3 | | ▲11.1 | |
| 陶磁器製造業合計 | | ▲6.9 | ▲17.2 | ▲12.5 | ▲14.0 | ▲8.2 | ▲7.1 | ▲14.1 | ▲16.5 | ▲14.5 | ▲13.3 |
| 珪砂製造業 | | ▲10.0 | | ▲10.0 | | ▲10.0 | | ▲10.0 | | ▲10.0 | |
| 建築・土木・生コン製造業 | | ▲10.5 | | 0.0 | | 11.1 | | ▲21.1 | | 5.3 | |
| 螺子製造業 | | 0.0 | | ▲23.5 | | 0.0 | | 0.0 | | ▲11.8 | |
| 和飲食器卸売業 | | 4.8 | | 9.5 | | 14.3 | | ▲10.0 | | ▲10.0 | |
| 電設資材卸売業 | | 5.6 | | 22.2 | | ▲5.6 | | ▲5.9 | | 12.5 | |

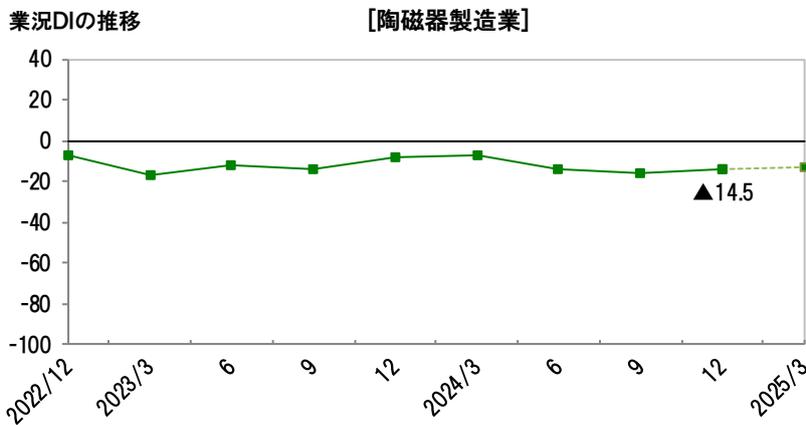
■ 名古屋地区 【業種別の業況天気図】

| 業種 | 2022年 12月 | 2023年 3月 | 6月 | 9月 | 12月 | 2024年 3月 | 6月 | 9月 | 12月 | 2025年 見直し3月 |
|-----------|--------------|-------------|-------|----|-------|-------------|-------|----|-------|----------------|
| 繊維製品製造業 | ▲20.0 | | ▲9.1 | | ▲9.1 | | ▲9.1 | | ▲9.1 | |
| 機械部品製造業 | ▲2.7 | | 5.4 | | ▲5.4 | | ▲18.9 | | ▲13.9 | |
| 紙加工品製造業 | 0.0 | | ▲14.3 | | ▲7.7 | | ▲26.7 | | ▲6.7 | |
| 鋼材・伸銅品卸売業 | 0.0 | | 0.0 | | ▲15.0 | | ▲20.0 | | ▲10.5 | |
| 建築材料卸売業 | ▲21.4 | | ▲14.3 | | 7.1 | | ▲7.1 | | ▲28.6 | |
| 家具・文具卸売業 | 0.0 | | ▲12.5 | | 0.0 | | ▲14.3 | | ▲14.3 | |
| 建設業 | ▲17.2 | | 0.0 | | 10.0 | | ▲13.3 | | 0.0 | |

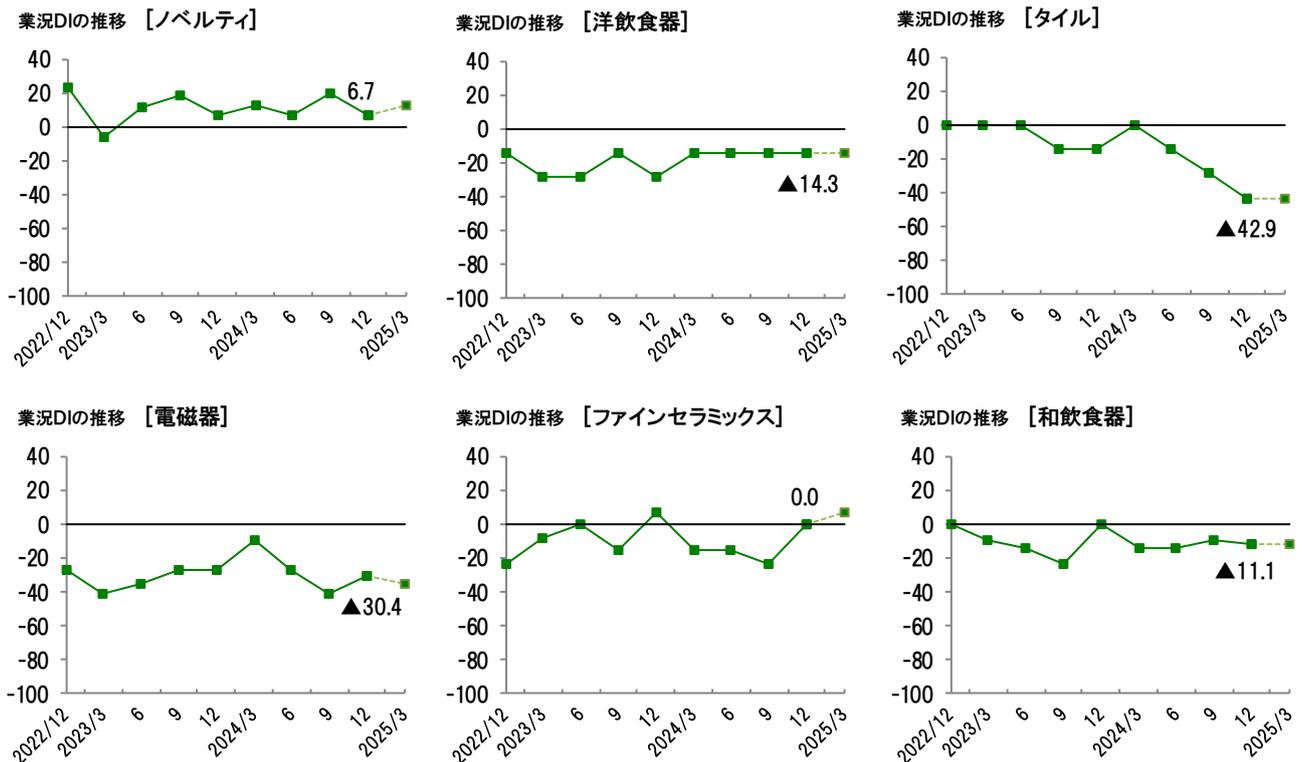
■ 瀬戸・尾張旭地区

< 陶磁器製造業 >

| 業種 | 2024年10-12月(今回)業況 | 2025年1-3月の見通し |
|------------|---|---------------|
| 陶磁器製造業全体 | 3業種において業況の悪化が見られたものの、「ファインセラミックス」の業況が大きく改善したことから、全体の業況感はわずかに改善した。 | 改善見通し |
| ノベルティ | 後退傾向ながら、前回調査に続きプラス圏で推移 | 改善見通し |
| 洋飲食器 | マイナス圏で横ばい推移 | 同水準の見通し |
| タイル | 悪化傾向、前回調査に続き低水準で推移 | 同水準の見通し |
| 電磁器 | 改善傾向ながら、前回調査に続きマイナス圏で推移 | 悪化見通し |
| ファインセラミックス | 改善傾向、プラス圏に回復 | 改善見通し |
| 和飲食器 | 悪化傾向、前回調査に続きマイナス圏で推移 | 同水準の見通し |



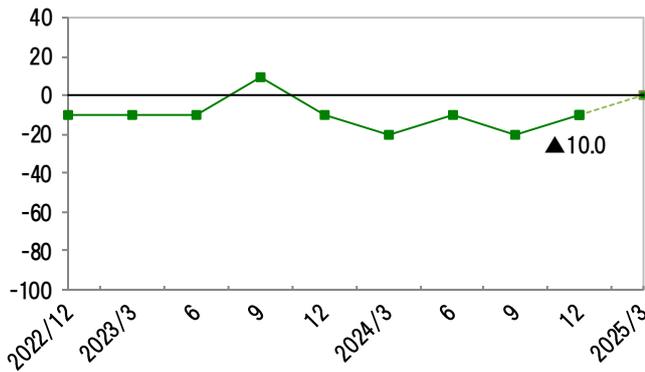
< 陶磁器製造業の業種別DI >



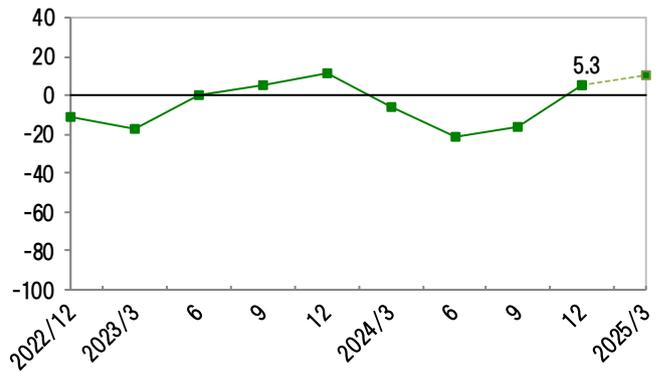
< その他製造業 >

| 業種 | 2024年10-12月（今回）業況 | | 2025年1-3月の見通し | |
|-----------|-------------------|-------------------------|---------------|-------|
| 珪砂 | | 改善傾向ながら、前回調査に続きマイナス圏で推移 | | 改善見通し |
| 建築・土木・生コン | | 改善傾向、プラス圏に回復 | | 回復見通し |
| 螺子 | | 悪化傾向、前回調査に続きマイナス圏で推移 | | 改善見通し |

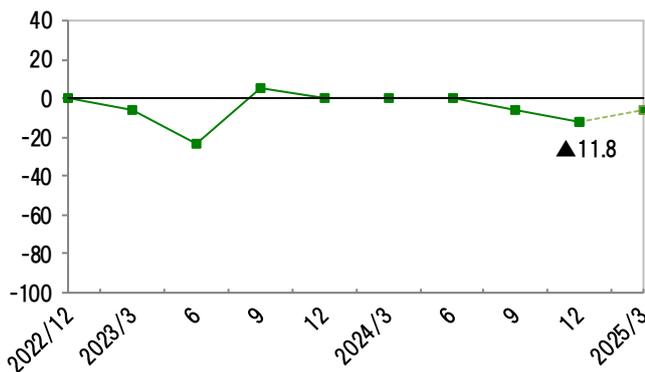
業況DIの推移 [珪砂製造業]



業況DIの推移 [建築・土木・生コン製造業]



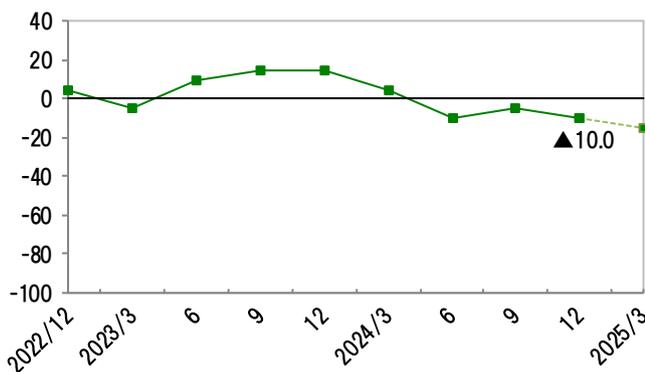
業況DIの推移 [螺子製造業]



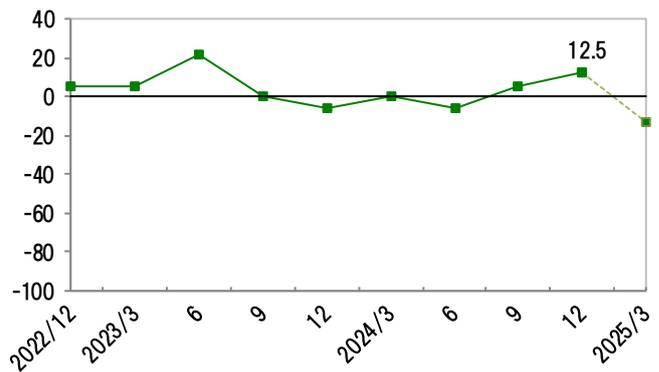
< その他卸売業 >

| 業種 | 2024年10-12月（今回）業況 | | 2025年1-3月の見通し | |
|------|-------------------|----------------------|---------------|-------|
| 和飲食器 | | 悪化傾向、前回調査に続きマイナス圏で推移 | | 悪化見通し |
| 電設資材 | | 回復基調、前回調査に続きプラス圏で推移 | | 悪化見通し |

業況DIの推移 [和飲食器卸売業]



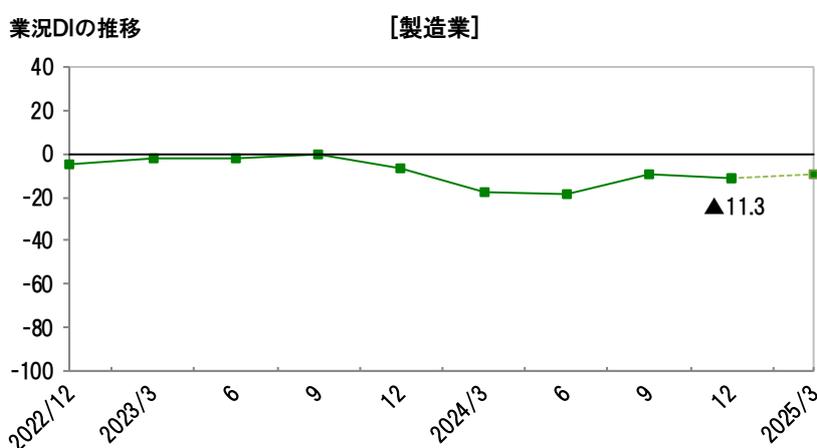
業況DIの推移 [電設資材卸売業]



名古屋地区

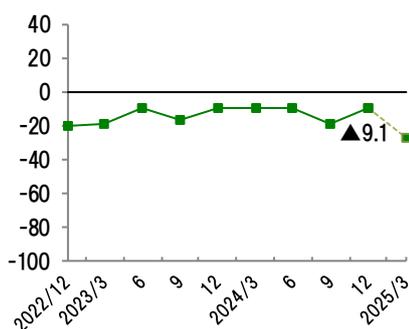
< 製造業 >

| 業種 | 2024年10-12月（今回）業況 | 2025年1-3月の見通し |
|-------|---|---------------|
| 製造業全体 | ☁️ 2業種において改善の動きが見られたものの、「機械部品」の業況が悪化したことから、全体の業況感はわずかに悪化した。 | ☁️ 改善見通し |
| 繊維製品 | ☁️ 改善傾向ながら、前回調査に続きマイナス圏で推移 | ☁️ 悪化見通し |
| 機械部品 | ☁️ 悪化傾向、前回調査に続きマイナス圏で推移 | ☁️ 改善見通し |
| 紙加工品 | ☁️ 改善傾向ながら、前回調査に続きマイナス圏で推移 | ☁️ 同水準の見通し |

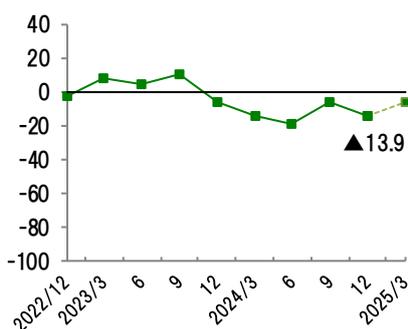


< 製造業の業種別DI >

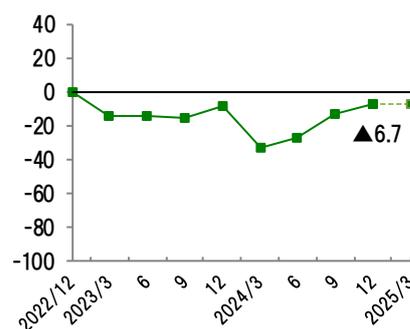
業況DIの推移 [繊維製品]



業況DIの推移 [機械部品]

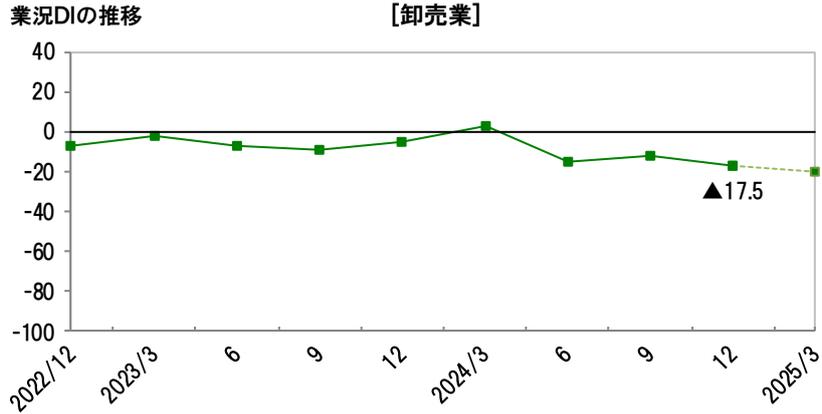


業況DIの推移 [紙加工品]



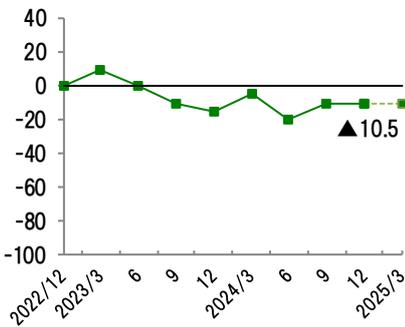
< 卸売業 >

| 業種 | 2024年10-12月（今回）業況 | 2025年1-3月の見通し |
|--------|--|---------------|
| 卸売業全体 | ☔ 「建築材料」において業況の悪化が見られたことから、全体の業況感も悪化し、前回調査に続きマイナス圏で推移した。 | ☔ 悪化見通し |
| 鋼材・伸銅品 | ☁ マイナス圏で横ばい推移 | ☁ 同水準の見通し |
| 建築材料 | ☔ 悪化傾向、前回調査に続きマイナス圏で推移 | ☔ 悪化見通し |
| 家具・文具 | ☁ マイナス圏で横ばい推移 | ☁ 同水準の見通し |

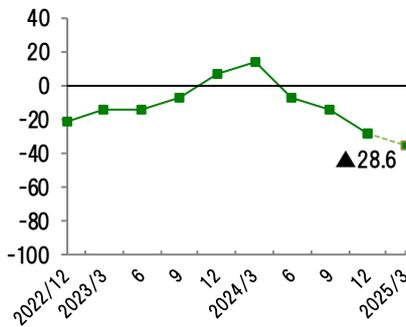


< 卸売業の業種別DI >

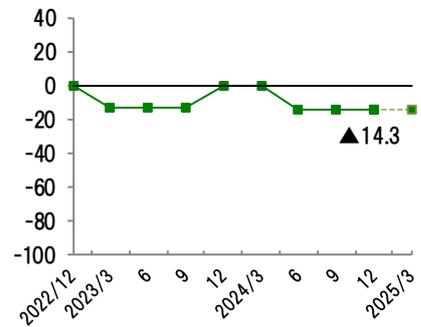
業況DIの推移 [鋼材・伸銅品]



業況DIの推移 [建築材料]

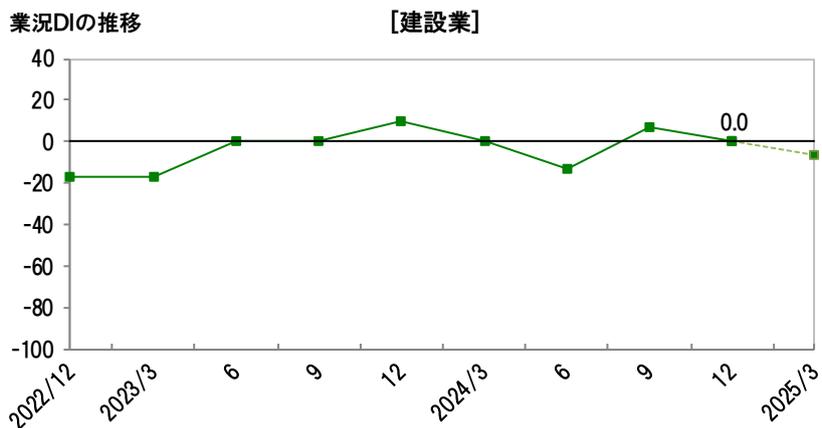


業況DIの推移 [家具・文具]



< 建設業 >

| 業種 | 2024年10-12月（今回）業況 | 2025年1-3月の見通し |
|-----|-------------------|---------------|
| 建設業 | ☁ 後退傾向ながら、プラス圏で推移 | ☁ 悪化見通し |



■ 瀬戸・尾張旭地区

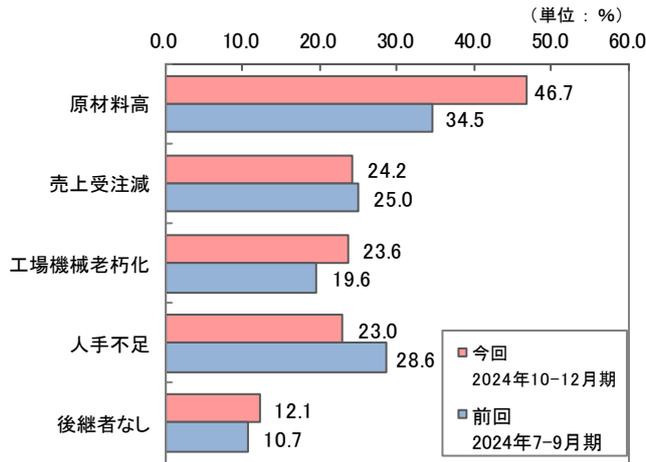
<経営上の問題点>

回答割合は「原材料高」が46.7%と最も高く、「売上受注減(24.2%)」「工場機械老朽化(23.6%)」と続いた。前回調査と比較すると、「原材料高」が12.2ポイント上昇した一方、「人手不足」は5.6ポイント低下した。

<設備投資の動き>

「実施あり」は7.9%（前回比+1.4ポイント）と前回の実績を上回った。今後3か月間の見通しについて、「実施予定あり」は6.7%（今回比▲1.2ポイント）の予想となった。

<経営上の問題点>



※数字は有効回答数に占める割合で1企業が3項目まで回答

<設備投資の動き>

| | 前回 2024年 7-9月期 | 今回 2024年 10-12月期 | 見通し 2025年 1-3月期 |
|-------|----------------------|------------------------|-----------------------|
| 実施あり | 6.5 | 7.9 | 6.7 |
| 土地 | 9.1 | 38.5 | 9.1 |
| 建物 | 18.2 | 30.8 | 27.3 |
| 機械の新設 | 18.2 | 30.8 | 27.3 |
| 機械の更改 | 36.4 | 23.1 | 9.1 |
| その他 | 18.2 | 0.0 | 36.4 |
| 実施なし | 93.5 | 92.1 | 93.3 |

※内訳の数字は「実施あり」に占める割合で1企業が複数回答あり

■ 名古屋地区

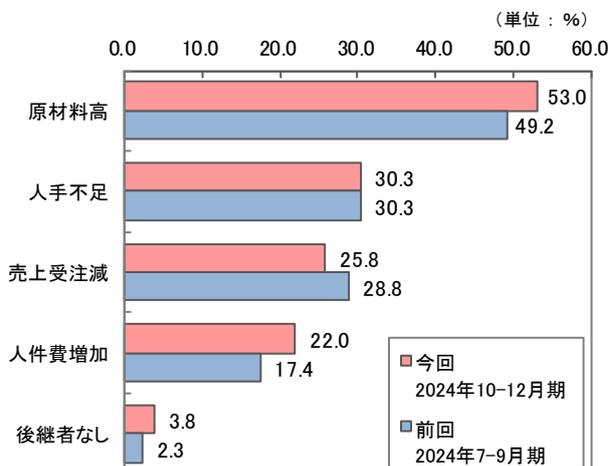
<経営上の問題点>

回答割合は「原材料高」が53.0%と最も高く、「人手不足(30.3%)」「売上受注減(25.8%)」と続いた。前回調査と比較すると、「原材料高」が3.8ポイント、「人件費増加」が4.6ポイント上昇した。

<設備投資の動き>

「実施あり」は3.0%（前回比▲0.8ポイント）と前回の実績を下回った。今後3か月間の見通しについて、「実施予定あり」は4.5%（今回比+1.5ポイント）の予想となった。

<経営上の問題点>



※数字は有効回答数に占める割合で1企業が3項目まで回答

<設備投資の動き>

| | 前回 2024年 7-9月期 | 今回 2024年 10-12月期 | 見通し 2025年 1-3月期 |
|-------|----------------------|------------------------|-----------------------|
| 実施あり | 3.8 | 3.0 | 4.5 |
| 土地 | 0.0 | 25.0 | 0.0 |
| 建物 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 機械の新設 | 60.0 | 0.0 | 83.3 |
| 機械の更改 | 40.0 | 50.0 | 16.7 |
| その他 | 20.0 | 25.0 | 16.7 |
| 実施なし | 96.2 | 97.0 | 95.5 |

※内訳の数字は「実施あり」に占める割合で1企業が複数回答あり

【特別調査】
2025年(令和7年)の経営見通しについて

2025年(令和7年)の経営見通しについて調査するとともに、脱炭素化への取組みについてもアンケートを行った。

<調査対象先> 当金庫取引先 297社
愛知県 728社 全国 12,984社(愛知県、全国は信金中央金庫の調査によるもの)

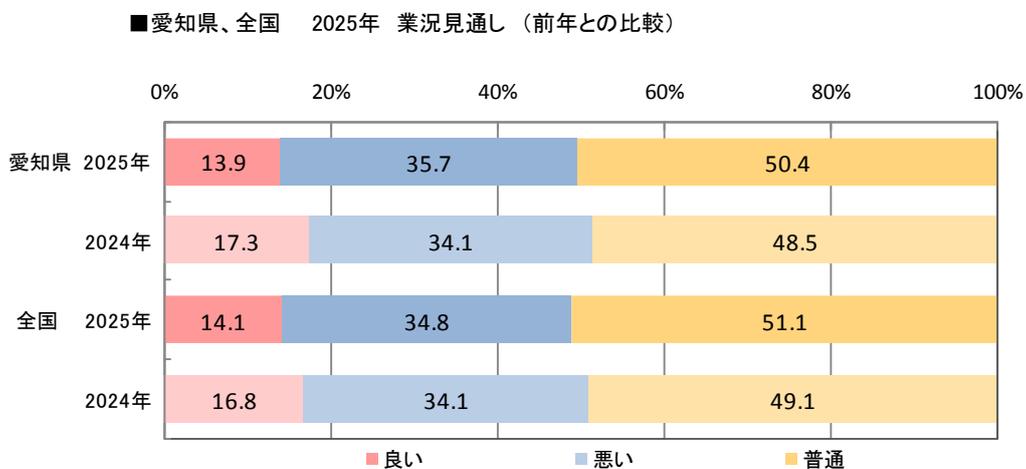
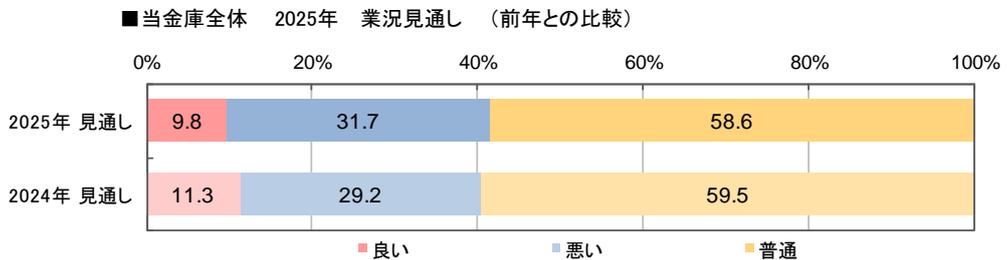
1. 自社の業況見通し

■当金庫全体

- ・2025年の業況見通しについて、「普通」が58.6%(前年比▲0.9ポイント)と最も高い回答割合であった。
- ・「良い」との回答割合は9.8%(前年比▲1.5ポイント)であった一方、「悪い」は31.7%(前年比+2.5ポイント)であり、前年に引き続き、業況の悪化を見込む取引先が上回る結果となった。
- ・「良い-悪い(DI)」の割合は▲21.9ポイントと、前年(▲17.9ポイント)と比較すると4.0ポイント悪化した。

■愛知県、全国

- ・2025年の業況見通しについて、「普通」が愛知県50.4%(前年比+1.9ポイント)、全国51.1%(前年比+2.0ポイント)と最も高い回答割合であったものの、当金庫全体(58.6%)と比較すると水準は下回った。
- ・「良い」との回答割合は愛知県(13.9%)・全国(14.1%)ともに前年と比較して低下した一方、「悪い」との回答割合は愛知県(35.7%)・全国(34.8%)ともに前年と比較して上昇しており、愛知県・全国ともに業況の悪化を見込む取引先が上回る結果となった。



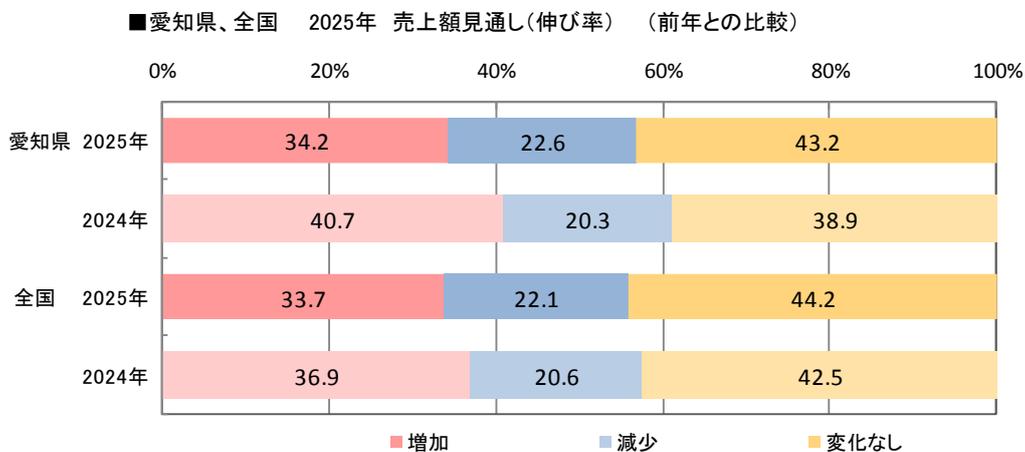
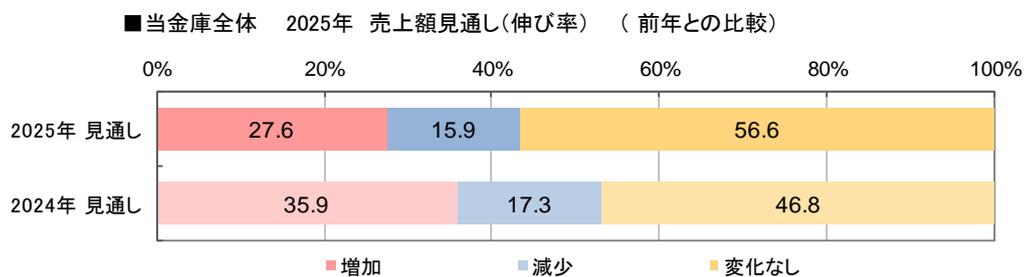
2. 自社の売上額見通し(伸び率)

■当金庫全体

- ・2025年の売上額見通しについて、「変化なし」が56.6%(前年比+9.8ポイント)と最も高い回答割合であった。
- ・「増加(27.6%)」と「減少(15.9%)」を比較すると、「増加」を見込む取引先が上回っているものの、「増加-減少(DI)」の割合は11.7%ポイントと、前年と比較して6.9ポイント悪化した。

■愛知県、全国

- ・2025年の売上額見通しについて、「変化なし」が愛知県43.2%(前年比+4.3ポイント)、全国44.2%(前年比+1.7ポイント)と最も高い回答割合であったものの、当金庫全体(56.6%)と比較すると下回る水準であった。
- ・「増加」と「減少」を比較すると、当金庫全体同様、「増加」を見込む取引先が上回っているものの、「増加-減少(DI)」の割合は愛知県、全国ともに11.6ポイントと、前年と比較して愛知県8.8ポイント、全国4.7ポイント悪化した。



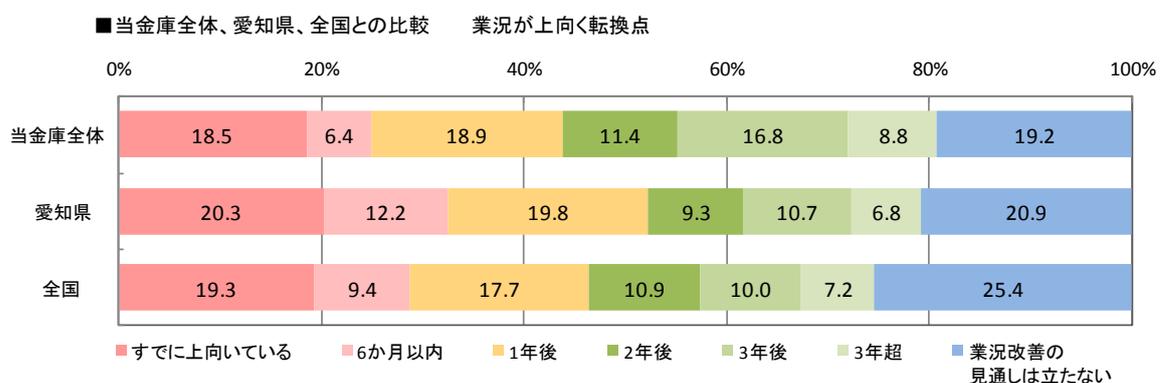
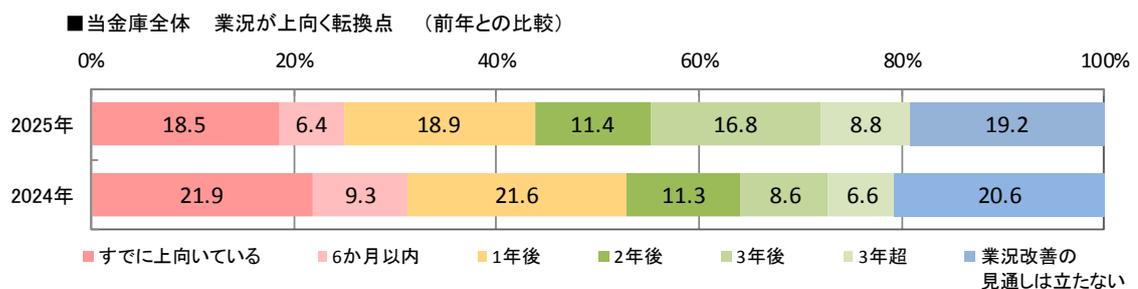
3. 自社の業況が上向く転換点

■当金庫全体

- ・自社の業況が上向く転換点については、「業況改善の見通しは立たない」が 19.2%と最も回答割合が高かったものの、「1年後」が 18.9%、「すでに上向いている」が 18.5%と回答が分かれており、取引先によって業況感に差が生じていることが窺える結果となった。
- ・前年と比較すると、「すでに上向いている」が▲3.4ポイント、「6か月以内」、「1年後」の短期ゾーンが▲5.6ポイントと低下した一方、「2年後」「3年後」の中期ゾーンが+8.3ポイント、「3年超」の長期ゾーンが+2.2ポイントと、中長期ゾーンの回答割合が上昇しており、業況が上向くまでに時間が必要であると考えている取引先が増加した。

■愛知県、全国

- ・愛知県は、「すでに上向いている」が 20.3%、「6か月以内」「1年後」の短期ゾーンが 32.0%と、当金庫全体と比較すると、早い段階で業況が上向くと考えている取引先が多いことが見て取れた。
- ・全国は、「すでに上向いている」が 19.3%、「6か月以内」「1年後」の短期ゾーンが 27.1%と、当金庫全体を上回ったほか、「業況改善の見通しは立たない」においても 25.4%と、当金庫全体を上回る結果となった。当金庫全体と比較すると、取引先による業況感の差が大きいことが窺える結果となった。



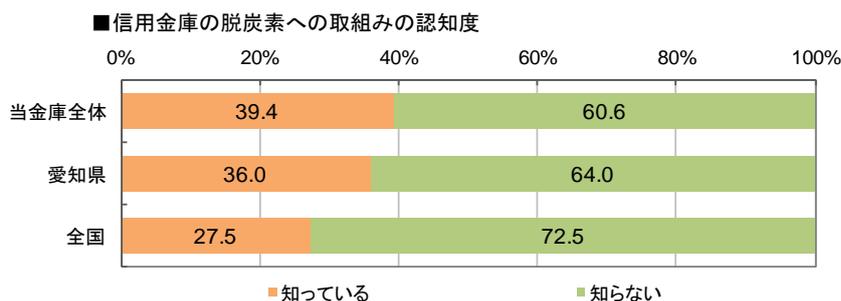
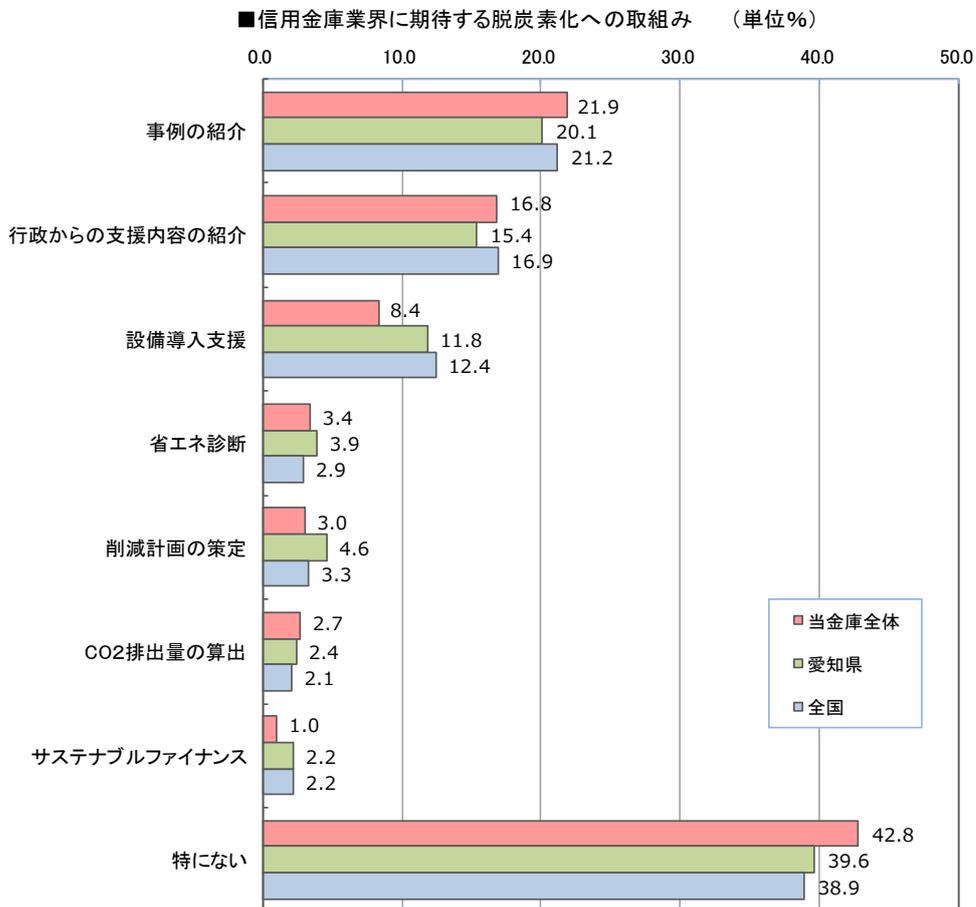
4. 脱炭素に向けて、「信用金庫業界に対して期待する取組み」と「取組状況の認知度」

■ 当金庫全体

- ・脱炭素化に向けて信用金庫業界に対して期待する取組みについては、「事例の紹介」との回答割合が21.9%と最も高く、「行政からの支援内容の紹介」が16.8%、「設備導入支援」が8.4%と続いた。また「特にない」との回答割合は42.8%となった。
- ・信用金庫業界が地域のために積極的に脱炭素への取組みを行っていることを知っているかについては、「知っている」と回答した割合が39.4%、「知らない」が60.6%と、「知っている」との回答割合が下回る結果となった。

■ 愛知県、全国

- ・脱炭素化に向けて信用金庫業界に対して期待する取組みについては、「事例の紹介」が愛知県20.1%、全国21.2%、「行政からの支援内容の紹介」が愛知県15.4%、全国16.9%と当金庫全体の回答割合とほぼ同様の結果となった。
- ・信用金庫業界が地域のために積極的に脱炭素への取組みを行っていることを知っているかについては、「知っている」との回答割合は愛知県(36.0%)、全国(27.5%)ともに、当金庫全体(39.4%)を下回った。



企業景気動向調査 No.187

愛知県瀬戸市東横山町 119 番地の 1

<https://www.setoshin.co.jp>

 **瀬戸信用金庫**

総合企画部

2025 年 1 月発行